

21年11月1日第三種郵便物認可



2022年(令和4年) 12月30日 金曜日

発行所 中部経済新聞社 〒450-8561 名古屋市中村区 名駅4-4-1
編集局 052(561) 販売部 052(561) 広告部 052(561) 事業部 052(561) 総務部 052(561) 東京支社 03(3572)
©中部経済新聞社 購読のお申し込み ☎0120-605...

音と映像で人をつなぐ
教育産業株式会社
本社 名古屋市中区丸の内三丁目一八番二八号
営業所 東京・横浜・大阪・福岡・名古屋・岐阜・三重
http://www.ksg.co.jp

本社工場に太陽光パネル

エネルギー自給へ設置 グループでも推進

大日本木材防腐

大日本木材防腐(以下DMB、本社名古屋港区千鳥1の3の17、鈴木龍一郎社長)はこのほど、本社工場と隣接する名古屋築地口倉庫に太陽光パネルを設置した。来年2月から稼働する。これまでは売電目的で太陽光パネルを設置してきたが、電気料金が高騰する中、エネルギーの自給を促進する狙い。今回、工場で使用電力の約10%を自給できる見込み。これを機にグループでもエネルギー自給の取り組みを拡大する。(吉川英司)



鈴木龍一郎社長

今回、太陽発電パネルを設置したのは、本社工場内の一部建物の屋上と、隣接地の賃貸倉庫の屋上。工場で57キロワット、倉庫で217



本社工場へのパネル施工の様子



倉庫棟に設置したパネル

キロワットの合計274キロワットを発電し、本社工場で使用する。DMBの牧野廉親取締役執行役員デジタル化推進統括部長は「工場の使用電力の約1割を自給できる見込みだ」と説明する。投資額は約8千万円で、10年ほどで償却できる見通し。同社としての太陽光発電への取り組みは、2014年に四国工場(香川県坂出市)の遊休地約1万7千平方メートルに、メガソーラー発電所を設置したのが最初だ。この時はFIT(国の固定価格買取制度)を利用した売電目的で、これを皮切りにグループ会社を含め合計3メガワットの発電事業を展開してきた。だが、売電事業はFITの買い取り価格が年々引き下げられ、収益性が低下している。

鈴木社長は「今後の太陽光発電は、電気料金が高騰する中でエネルギー自給を目的にしたい」と強調。また、「小水力発電や風力発電などほかの自然エネルギー利用も研究している」といい、環境配慮型のエネルギー自給に力を入れる。今回設置した以外にも、グループ会社の工務店、ザイソウハウス(本社名古屋市中区)が、木造3階建ての本社ビルで、近く太陽光

による電力の完全自給化を実現する見込みだ。また、「飛鳥工場の事務所棟も、晴天時には太陽光のみで電力が賄えるようになった」とし、グループ各施設で順次、エネルギー自給に取り組んでいく考えだ。

今回、本社工場への太陽光パネル設置は、柴田工業(本社名古屋市中村区、柴田最高経営責任者「CEO」)に依頼した。同社は建物の耐震補強工事が増え、構造計算に強い。2012年から太陽光パネ

はその新展開の一つだ。柴田CEOは「今回の設置場所のうち、倉庫棟はやや古く他社では一の足を踏む物件だが、当社の基準では十分に設置可能だ。丁寧な現地調査で可否を判断している」と強調した。

月末時点で名古屋や大府市をはじめ、全国の小中学校など公共施設に477件の設置実績がある。現在は民間企業からの受託拡大を目指しており、今回の設置